

ヒゲジロホソコバネカミキリが5年間 ミズナラより羽脱する

花岡 正

1990年5月に氷ノ山、奥谷よりミズナラの材を持ち帰ったところ、1990年から1994年の5年間にかけヒゲジロホソコバネカミキリが羽脱したので報告する。

材の直径約30^{mm}長さ約80^{cm}。樹皮は剥がれ落ち、ヒゲジロホソコバネカミキリの脱出孔らしき孔が数箇所あり、切断面には心材部に食抗道が多数みられた。材そのものはプラスチック製の衣裳箱に入れ、年に数回散水した。データは次の通りである。

羽脱データ(1990~1994年)

羽脱日	性別	体長
20 - VI - 1990	1 ♂ 2 ♀ ♀	♂ 18 ^{mm} ~ 14 ^{mm} ♀ 23 ^{mm} ~ 18 ^{mm}
04 - VI - 1991	5 ♂ ♂	
05	3 ♂ ♂	
06	3 ♂ ♂	
08	2 ♀ ♀	
09	1 ♀	
06 - VI - 1992	3 ♂ ♂	
07	1 ♂	
08	1 ♀	
09	2 ♂ ♂	
10	2 ♀ ♀	
07 - VI - 1993	1 ♂	12 ^{mm} 10 ^{mm}
08	1 ♂	
11	2 ♀ ♀	
31 - V - 1994	1 ♀	
02 - VI - 1994	1 ♂	

